

会 告

◇ ◇ 電子情報通信学会創立 100 周年記念事業 ◇ ◇ ——記念懸賞論文募集のお知らせ——

編集連絡会

本会は、平成 29 年 5 月 1 日に創立 100 周年を迎えます。編集連絡会では、創立 100 周年記念事業の一環として、ソサイエティごとにテーマ・内容を設定して、記念懸賞論文の募集を行います。最優秀論文並びに優秀論文は、平成 29 年 12 月号会誌（紙版、オンライン版）に掲載されます。

皆様の独創的かつ意欲的な論文をお待ちしておりますので、奮って御応募下さい。

【テーマ・内容】

●基礎・境界ソサイエティ／NOLTA ソサイエティ

「新領域の創造と新たな飛躍を目指して」

現在社会を支える重要な技術や装置の多くは、数十年前には、漫画や SF 小説における夢物語でしかありませんでした。しかし、失敗を恐れない地道な基礎研究や境界領域研究により、その夢物語は実現の足掛かりを得て、実用化されてきました。社会の今後の更なる発展を目指すためには、20 年 50 年あるいは 100 年後の電子情報通信技術において必要となる「新しい研究領域」や「新たな飛躍」などの「夢」を持つことが重要となります。今後、基礎・境界分野の研究者が取り組むべき「夢」について、自由闊達に語って下さい。

●通信ソサイエティ

「私と未来をつなぐ通信技術」

通信技術は、電話網のように通話というサービスを提供するためのインフラに始まり、今日では人と人をつなぐだけでなく、‘もの’ と ‘もの’ をもつないで新たなサービスを生み出すためになくてはならない中核技術へと進化しています。通信技術の発展は我々をどのような未来へつないでくれるでしょうか。私たちを取り巻く環境、エネルギー、自然災害、社会福祉などあらゆる側面から、通信技術とそれが切り開く未来、そして私たちの生活にもたらす恩恵について、次の 100 年を展望した論文を募集致します。

●エレクトロニクスソサイエティ

「自然と調和する 100 年先の情報通信とエレクトロニクス」

本会は、人のあらゆる活動が ICT ベースのコミュニケーション基盤で支えられ、持続的な進化を遂げる社会をあるべき未来像として描いています。その中で重要なのは天然資源の保全や環境汚染の回復などを通して地球環境を守りつつ、天災・人災等の被害を最小化する、自然と調和した持続可能社会の実現です。数十年後の近未来までの実現に向けて、目下以下に示す事項の挑戦が進められていますが、これらの更に先に待っている社会の未来像と、それを支える技術を自由に描いて下さい。

- ・自然エネルギー利用発電と新エネルギー源開拓、地球規模環境観測と災害予測
- ・地球規模の自然現象シミュレーション
- ・ユビキタス地震モニタリングネットワーク
- ・地上一月間／惑星間通信など

●情報・システムソサイエティ

「人・社会・自然を豊かにする情報システムの未来展望」

情報システムの進歩により、かつてアニメや映画の世界で登場した様々な技術が実現されてきました。その一方で高度化した社会は、新たな問題に直面しているのも事実です。そこで今世紀という時間規模で、人類の繁栄、更には、人類のみならずこの地球全体の共存の実現に必要な情報システム、または、情報システムを実現する我々研究者・技術者に求められる思想・理念などについて、自由にお書き下さい。研究者・技術者（を目指している者）ならではのメッセージを期待しています。

【賞及び賞金】

各テーマ 最優秀賞 1 件（10 万円）、優秀賞 3 件（各 5 万円）

【応募資格】

国籍及び本会会員，非会員については問いません。

【応募規程】

- (1) 日本語または英語で執筆して下さい。
- (2) 一人一論文とし，ソサイエティを明記して下さい。連名は不可とします。
- (3) 自作・未発表で第三者が有する著作権等の権利を侵害しないものに限り，本会著作権規程に違反していることが判明した場合には，審査結果発表後であっても，受賞の取消と賞金の返還を求めます。
本会著作権規程 <http://www.ieice.org/jpn/copyright/houshin.html>
- (4) 万が一，本記念懸賞論文の応募作品に対し，第三者から権利侵害，損害賠償等の苦情，異議申立があった場合は，電子情報通信学会は一切の責任を負わず，応募者が費用負担も含めて対処するものとします。
- (5) 最優秀論文並びに優秀論文の掲載にあたっては，会誌掲載記事としての体裁に整え，既定の用字・用語を用いて編集致します。また，編集作業に必要な本文・図表等のデータを依頼する場合がございますので，あらかじめ御了承下さい。会誌掲載前に著者校正があります。
- (6) 受賞論文の著作権は一般社団法人電子情報通信学会に帰属します。
- (7) 応募論文は返却致しません。
- (8) 各ソサイエティ宛て電子メールにてお送り下さい。なお，応募及び審査の状況，受賞に関するお問合せには回答しかねます。

【応募方法】

- (1) 執筆文字数は以下のとおりです。
 - ・和文の場合は，11,000 文字（図，表，文献，著者紹介含む）以内。
 - ・英文の場合は，3,000 words（図，表，文献，著者紹介含む）以内。原稿の1 ページ目は表紙とし，タイトル，氏名（ふりがな付き），会員種別，住所（連絡先），電話番号，メールアドレス，学校（学部，専攻，学年）名，または，勤務先（部，課）名，及び所在地，所属学会があれば学会名を明記して下さい。
- (2) 懸賞記念論文用 WORD ファイルを参考にして作成，PDF ファイルに変換の上，添付ファイルにて送信して下さい。
- (3) メール の表題を「創立 100 周年記念懸賞論文募集（応募ソサイエティ名）」として下さい。
- (4) 他の文献からの引用箇所には，参考文献の番号を明記し，本文の巻末に参考文献の一覧表を付記して下さい。

【個人情報の取扱い】

- (1) 論文募集に係る個人情報については，論文の審査，発表，表彰，応募状況の集計，公表（会誌，ホームページ等での掲載）以外の目的で使用することはありません。
- (2) 発表の際には，受賞者の氏名を公表致します。

【応募受付開始】

平成 28 年 8 月 1 日

【応募締切】

平成 28 年 12 月末日

【問合せ・応募宛先】

基礎・境界ソサイエティ／NOLTA ソサイエティ memorialpaper_a@ieice.org

通信ソサイエティ memorialpaper_b@ieice.org

エレクトロニクスソサイエティ memorialpaper_c@ieice.org

情報・システムソサイエティ memorialpaper_d@ieice.org

【審査決定】

論文の選考は，各ソサイエティ記念論文選考委員会が候補論文の審査を行った上で，編集連絡会において決定致します。

以上

電子情報通信学会各研究会開催案内

第一種研究会 平成 28 年 10 月 3 日～10 月 28 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ/NOLTA ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場
回路とシステム (CAS)	27日(木)	9:30~16:40	日立製作所・中央研究所
非線形問題 (NLP)	28日(金)	9:30~14:15	
信頼性 (R)	21日(金)	13:30~16:45	沖縄県青年会館
超音波 (US)	7日(金)	14:30~16:50	日本大学・工学部
応用音響 (EA)	14日(金) 15日(土)	14:30~18:10 9:00~11:10	国民宿舎能登小牧台
ワイドバンドシステム (WBS)	6日(木)	11:00~17:20	防衛大学校
思考と言語 (TL)	9日(日)	9:10~17:15	神戸学院大学・ポートアイランドキャンパス
技術と社会・倫理 (SITE)	3日(月)	10:30~16:45	日本大学・理工学部・駿河台キャンパス
安全性 (SSS)	25日(火)	13:00~17:10	機械振興会館
バイオメトリクス (BioX) MEとバイオサイバネティクス (MBE) ニューロコンピューティング (NC)	22日(土)	9:00~18:10	大阪電気通信大学・駅前キャンパス
安全・安心な生活と ICT (ICTSSL) 情報ネットワーク (IN)	20日(木) 21日(金)	9:30~17:45 9:30~16:15	大阪大学・中之島センター
10月休会の研究会;情報理論 (IT), VLSI 設計技術 (VLD), 情報セキュリティ (ISEC), 信号処理 (SIP), システム数理と応用 (MSS), ITS (ITS), スマートインフォメディアシステム (SIS), イメージ・メディア・クオリティ (IMQ), 高信頼制御通信 (RCC), 複雑コミュニケーションサイエンス (CCS)			

◎通信ソサイエティ

(通信ソサイエティでは、技術研究報告の完全電子化に向けた取組みのため、一部の研究会で参加費をお支払頂くことになりました。詳しくはトライアルのページ http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/trial2015/trial2015_index.html を御参照下さい。)

研究会名	日 時		会 場
宇宙・航行エレクトロニクス (SANE)	20日(木) 21日(金)	13:30~16:35 9:50~15:40	大阪工業大学・うめきたナレッジセンター
衛星通信 (SAT)	13日(木) 14日(金)	9:00~17:40 9:15~17:45	韓国仁川大学・松島キャンパス
環境電磁工学 (EMCJ) マイクロ波 (MW) エレクトロニクスシミュレーション (EST)	20日(木) 21日(金)	8:55~17:45 8:55~16:15	東北大学・青葉山東キャンパス
ネットワークシステム (NS)	20日(木) 21日(金)	13:00~17:00 10:45~12:00	姫路・西はりま地場産業センター
情報ネットワーク (IN) 安全・安心な生活と ICT (ICTSSL)	20日(木) 21日(金)	9:30~17:45 9:30~16:15	大阪大学・中之島センター
電子通信エネルギー技術 (EE) 無線電力伝送 (WPT)	6日(木) 7日(金)	9:30~17:45 9:00~16:15	龍谷大学・セミナーハウス・ともいき荘
光通信システム (OCS) 光エレクトロニクス (OPE) レーザ・量子エレクトロニクス (LQE)	27日(木) 28日(金)	10:10~17:25 9:40~15:40	宮崎市民プラザ
無線通信システム (RCS)	20日(木) 21日(金)	9:20~18:20 10:00~16:10	横須賀テレコムリサーチパーク・YRP センター 1 番館

光ファイバ応用技術 (OFT)	13日(木) 14日(金)	14：35～17：15 9：30～11：45	マリオス (盛岡)
インターネットアーキテクチャ (IA)	14日(金)	10：00～17：20	東京大学・小柴ホール
スマートフォン無線 (SR)	27日(木) 28日(金)	13：00～17：30 9：15～17：00	大阪大学・中之島センター
短距離無線通信 (SRW)	17日(月)	10：00～18：30	アンリツ (厚木)
10月休会の研究会；アンテナ・伝播 (A・P)，通信方式 (CS)，コミュニケーションクオリティ (CQ)，フォトニックネットワーク (PN)，情報通信マネジメント (ICM)，モバイルネットワークとアプリケーション (MoNA)，知的環境とセンサネットワーク (ASN)，ヘルスケア・医療情報通信技術 (MICT)			

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場
機構デバイス (EMD)	21日(金)	14：00～16：20	レンタルホール湘南平塚
磁気記録・情報ストレージ (MR)	20日(木) 21日(金)	13：00～17：45 9：10～12：35	九州大学・西新プラザ
超伝導エレクトロニクス (SCE)	26日(水) 27日(木)	13：30～17：05 10：00～12：05	東北大学・電気通信研究所
電子ディスプレイ (EID)	28日(金)	13：00～16：15	機械振興会館
電子デバイス (ED)	25日(火) 26日(水)	13：00～17：00 9：30～13：30	三重大学・新産業創成研究拠点
電子部品・材料 (CPM)	5日(水)	13：00～16：20	機械振興会館
シリコン材料・デバイス (SDM)	26日(水) 27日(木)	14：00～16：50 10：00～14：40	東北大学・未来情報産業研究館
マイクロ波 (MW) エレクトロニクスシミュレーション (EST) 環境電磁工学 (EMCJ)	20日(木) 21日(金)	8：55～17：45 8：55～16：15	東北大学・青葉山東キャンパス
光エレクトロニクス (OPE) レーザー・量子エレクトロニクス (LQE) 光通信システム (OCS)	27日(木) 28日(金)	10：10～17：25 9：40～15：40	宮崎市民プラザ
有機エレクトロニクス (OME)	28日(金)	13：00～17：20	機械振興会館
10月休会の研究会；電磁界理論 (EMT)，集積回路 (ICD)，マイクロ波・ミリ波フォトニクス (MWP)			

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場
MEとバイオサイバネティクス (MBE) ニューロコンピューティング (NC) バイオメトリクス (BioX)	22日(土)	9：00～18：10	大阪電気通信大学・駅前キャンパス
画像工学 (IE)	6日(木) 7日(金)	11：00～18：20 10：00～12：05	福岡大学・図書館
コンピュータシステム (CPSY)	6日(木)	10：00～17：00	幕張メッセ・国際会議場
コンピューテーション (COMP)	21日(金)	10：00～16：20	東北大学・電子情報システム・応物系南講義棟
ソフトウェアサイエンス (SS) ディバダブルコンピューティング (DC)	27日(木) 28日(金)	11：00～16：45 9：30～12：35	彦根勤労福祉会館
パターン認識・メディア理解 (PRMU)	20日(木) 21日(金)	13：00～17：40 9：30～17：20	宮崎大学・木花キャンパス・工学部
音声 (SP)	27日(木)	10：30～17：40	静岡大学・情報学部・浜松キャンパス
教育工学 (ET)	22日(土)	9：30～17：35	長崎大学・文教地区キャンパス

10 月休会の研究会；ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS)，言語理解とコミュニケーション (NLC)，人工知能と知識処理 (AI)，データ工学 (DE)，知能ソフトウェア工学 (KBSE)，医用画像 (MI)，ソフトウェアインタプライズモデリング (SWIM)，リコンフィギャラブルシステム (RECONF)，情報通信システムセキュリティ (ICSS)，情報論的学習理論と機械学習 (IBISML)，マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM)，クラウドネットワークロボット (CNR)，サービスコンピューティング (SC)

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日 時		会 場
マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE)	13 日(木) 14 日(金)	13 : 00~17 : 35 9 : 00~12 : 55	支笏湖丸駒温泉
福祉情報工学 (WIT)	16 日(日) 17 日(月)	13 : 00~17 : 45 9 : 00~11 : 55	唐津ロイヤルホテル
10 月休会の研究会；ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS)，ヒューマン情報処理 (HIP)			

◇第二種研究会開催案内

情報の認知と行動研究会ワークショップ 2016	10 月 6 日(木)，7 日(金)	紀州南部ロイヤルホテル
第 61 回機能集積情報システム研究会	10 月 21 日(金)	山形大学・工学部・百周年記念会館
アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ (第 56 回)	11 月 11 日(金)	機械振興会館
第 5 回集積光デバイスと応用技術研究会	11 月 24 日(木)，25 日(金)	東北大学・片平キャンパス

● 受賞候補者募集等 ●

——平成 28 年度学術奨励賞・受賞候補者推薦用紙——

今年度の学術奨励賞は、2016 年総合大会（九州大学）及び、2016 年ソサイエティ大会（北海道大学）の講演者を対象に選定致します。受賞者は、上記 2 大会における各座長、各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会委員・投票委員及び一般会員等からの推薦を各ソサイエティ学術奨励賞選定委員会が所定の手続に従い審査して理事会で決定致します。

つきましては、今回は 2016 年ソサイエティ大会の講演者を対象として募集致しますので、下記の推薦要領を御参照の上多数の会員の方々が御推薦下さるようお願い致します。

- <被推薦者の条件> 1. 2016 年ソサイエティ大会において講演者として登録かつ講演を行った者（一般講演、シンポジウム講演）であること。
 2. 当該大会の開催年の 12 月 31 日において 33 歳の誕生日を迎えていない者であること。
 3. 過去に本奨励賞を受けたことのない者であること。

<推薦者の資格及び推薦数・推薦用紙>

本会正員に限る。前記被推薦者の条件 1.～4. 項に該当し、適格と認められる者 1 名を推薦。下記の推薦用紙を切り取り所定事項を漏れなく記入し、電子情報通信学会事務局大会・研究会部宛てに郵送すること。

<締切期日> 平成 28 年 10 月 14 日（金）必着（以後の到着は無効となります）

..... 切 取 線
 切 取 線

平成 28 年度学術奨励賞・受賞候補者の推薦用紙

ふりがな 講演者氏名 (条件 1) 所属		年齢： (条件 2)
発表大会名	2016 年ソサイエティ大会(北海道大学)	
(講演番号)	()	
題 名		
推 薦 理 由		
推 薦 者 氏 名	正 員 (会員番号：)	

(注) ・推薦理由は、必ず記入して下さい。

——平成 28 年度論文賞候補論文推薦について（通信ソサイエティ）——

**** Nomination guidelines for the 2016 Best Paper Awards of IEICE (Communications Society) ****

通信ソサイエティから、ソサイエティ会員（正員）の皆様へ平成 28 年度論文賞候補論文推薦のお願いです。論文賞は、各ソサイエティ論文誌に掲載された論文から、特に優秀なものを毎年各 3 編選出し表彰するものです。通信ソサイエティ会員（正員）の皆様には積極的な御推薦をお願い致します。

なお、論文賞候補に推薦された論文は、通信ソサイエティ論文賞候補論文としても推薦されます。通信ソサイエティ論文賞は、通信ソサイエティが 2006 年度に創設し、カテゴリー別に優れた論文を年間 11 編まで選定し表彰するものです。

論文賞候補の推薦にあたっては、下記の事項に御注意下さい。

◎ 論文賞推薦条件及び規程

1. 推薦対象

論文賞候補となる論文は、平成 27 年 10 月から平成 28 年 9 月までの間に通信ソサイエティの論文誌に発表された論文とする。ただし、招待・解説論文、及び、ComEX レターは通信ソサイエティ論文賞の候補にはなるが、論文賞の候補とはならない。

2. 推薦用紙

通信ソサイエティ正員は、推薦用紙若しくは通信ソサイエティ HP 上 (<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/b/>) の所定の様式により論文賞候補論文 1 編を推薦する。なお、推薦用紙を用いた場合は、本会総務部宛て郵送のこと。

3. 推薦資格及び推薦件数

通信ソサイエティ正員 1 名につき 1 編

4. 推薦期日

平成 28 年 11 月 1 日（火）（必着）

5. 選奨規程下記参照

1. The candidate papers must be selected from the IEICE Transactions on Communications published between October 2015 and September 2016. Note that Invited Papers and IEICE Communications Express (ComEX) Letters shall be the candidates only for the Best Tutorial Paper Award and the ComEX Best Letter Award, respectively, of the IEICE Communications Society.
2. Any regular member of the IEICE Communications Society can nominate one paper for the award candidates either via the prescribed nomination form or via the Web page of the IEICE Communications Society. (<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/b/>)
3. The nomination deadline is November 1, 2016.
4. For detailed provisions of the Best Paper Award of IEICE, see http://www.ieice.org/eng/about_ieice/provisions_for_commendations.pdf

◎ 論文賞規程

第 4 章 論文賞

第 11 条 論文賞は、本会規則第 48 条による表彰で本会論文誌に発表された論文のうち、特に優秀なものを選び、その著者に贈呈する。

第 12 条 表彰する論文は、各ソサイエティに対応する論文誌に掲載された論文からソサイエティごと（理事会で複数ソサイエティでの共同運営が認められている場合は、当該ソサイエティ共同運営ごと）に毎年各 3 編とする。なお、編数は選定状況により変更することができる。

第 13 条 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前々年の 10 月から前年の 9 月までの間に発表されたものであることを要する。

第 14 条 表彰する論文が共著の場合は、著者全員を表彰する。

第 15 条 論文賞は、同一著者に重ねて授賞しても差支えない。

◎ 各ソサイエティ論文賞候補論文選定方法規程

<http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/societysentei.html#B> を参照。

◎ 通信ソサイエティ論文賞規程

<http://www.ieice.org/cs/jpn/cs-edit/files/best-paper.html> を参照。

——末松安晴賞候補者推薦について——

***** Nomination guidelines for the 2016 SUEMATSU-Yasuharu Award of IEICE *****
(English site: http://www.ieice.org/eng/about_ieice/suematsu_yasuharu_award.html)

平成 26 年度第 4 回理事会（平成 26 年 9 月 16 日）において、末松安晴賞が新設されました。本賞は、電子情報通信分野で、学術、技術、標準化などにおいて特に顕著な貢献が認められ、今後の進歩・発展が期待される若手研究者、技術者・実務家に授与されるものです。

本会正員からの平成 28 年度末松安晴賞候補者の推薦を求めます。下記推薦条件及び関係規程を御参照の上、積極的な御推薦をお願い致します。

末松安晴賞候補者の推薦にあたっては、推薦候補者の生年月日に特に御注意下さい。

推薦条件及び規程

1. 候補者（被推薦者）

- ・推薦された年の 12 月 31 日において 40 歳の誕生日を迎えていないこと
- ・過去に本賞を受賞したことがないこと

2. 推薦者

本会正員 2 名（少なくとも 1 名は候補者と別機関に所属）

※自薦は認めない

3. 推薦方法

推薦書及び業績を裏付ける資料を事務局総務部宛て平成 28 年 11 月 30 日（消印有効）までに郵送すること

4. 手続及び推薦書様式等

推薦書様式は下記よりダウンロードして下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/suematsusho/>

5. 選奨規程 下記参照

日本語：<http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/senshoukitei.pdf>

English：http://www.ieice.org/eng/about_ieice/provisions_for_commendations.pdf

〈推薦書類送付先〉

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会総務部

Mail to: The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Minato-ku, Tokyo,

105-0011 JAPAN

——情報・システムソサイエティ論文賞 候補論文推薦依頼——

情報・システムソサイエティ論文賞選定委員会
委員長 山名早人

情報・システムソサイエティでは1999年度より、本部論文賞とは別に、情報・システムソサイエティ論文賞（以下ソサイエティ論文賞と略記）を新設致しております。情報・システムソサイエティ正員の皆様には積極的な推薦をお願い致します。ソサイエティ論文賞は和・英論文誌Dに掲載された論文から、長期的視点に立って特に優秀な論文を原則1件選び、その著者に贈呈します。なお、今年度の選定対象論文は、以下のいずれかの条件に合致する論文となります。

1. [サーベイ論文・解説論文] 2011年10月から2015年9月の4年間に掲載された和・英のサーベイ論文・解説論文のうち、特に優秀なもの。ただし過去に本部論文賞を受賞したものは対象としません。
2. [先見論文] 2011年10月から2015年9月の4年間に掲載された和・英の論文のうち、新たに価値が認識された特に優秀なもの。ただし過去に本部論文賞を受賞したものは対象としません。
3. [連作論文] 2011年10月から2016年9月の5年間に掲載された和・英の論文のうち、同一著者による複数件の論文が連作として優れていると認められるもの。ただし連作の論文の一つが既に本部論文賞あるいはソサイエティ論文賞を受賞している場合は対象としません。
4. [システム開発論文] 2011年10月から2015年9月の4年間に掲載された和・英のシステム開発論文のうち、特に優秀なもの。ただし過去に本部論文賞を受賞したものは対象としません。

正員が推薦できる論文は1編です。ただし、連作論文の場合は複数の論文からなる連作1件です。本ソサイエティHP (<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/d2/>)から推薦登録頂くか、下記に記入の上、学会事務局（〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館 電子情報通信学会大会・研究会部 ISS 担当）宛てに12月1日（木）までに郵送して下さい。

なお、ソサイエティ論文賞の詳細につきましては、電子情報通信学会誌 vol. 82, no. 10, pp. 1072-1073, “情報・システムソサイエティ論文賞の創設” (1999年10月) または、情報・システムソサイエティ誌 第4巻第3号 “ソサイエティ活性化の新しい試み” (1999年10月 <http://www.ieice.org/~iss-mag/pdf/Vol4No3.pdf>) を御覧ください。

情報・システムソサイエティ論文賞 2016年度候補論文推薦用紙

論文種別 ([サーベイ論文・解説論文] [先見論文] [連作論文] [システム開発論文]) いずれか一つに○印をつける	
推薦論文 (論文名, 著者, 掲載年月号, 論文誌種別を明記 [連作論文] の場合はすべてを挙げること)	
推薦理由	
推薦者 (情報・システムソサイエティ正員氏名)	勤務先・所属
	勤務先住所・電話・電子メール
会員番号	

(本部論文賞の推薦用紙は会誌11月号会告欄に掲載致します。お間違えのないよう御注意下さい)

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●大分大学

公募人員 工学部電気電子工学科（電子コース）電子情報システム工学講座 准教授 1名
 専門分野 光計測システム、光（ファイバ）センサ、光ファイバ通信に関する先進的研究分野
 教育担当 電磁気学、計測・情報システム系関連科目から講義1～2科目、共通的分担（13～14名）科目2科目、実験科目等具体的な担当科目は採用後に決定する
 応募締切 平成28年10月28日（金）必着
 問合先 電気電子工学科 学科長 古賀正文
 詳細 <http://www2.cc.oita-u.ac.jp/eng/koubo.html>

●大分大学

公募人員 准教授 1名
 所 属 工学部知能情報システム工学科知能システム講座
 専門分野 データ工学（ビッグデータ利活用の基盤となる大規模データベースや分散データベース、クラウドコンピューティングなど）
 着任時期 平成29年2月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成28年11月1日（火）必着
 問合先 工学部知能情報システム工学科教授 中島 誠
 TEL [097] 554-7884, nakasima@oita-u.ac.jp
 詳細 <http://www2.cc.oita-u.ac.jp/eng/koubo.html>

●九州大学

公募人員 応用力学研究所自然エネルギー統合利用センター 教授 1名
 専門分野 エネルギー変換と輸送の高効率化を基盤にして、要素研究を統合する研究開発に意欲と実績があり、当研究所の進めるプロジェクト、新しい全学組織であるエネルギー研究教育機構への参画並びに全国共同利用研究にも積極的な取り組みができる方の応募を期待する
 応募締切 平成28年10月28日（金）17時必着
 問合先 応用力学研究所 柿本浩一
 TEL [092] 583-7741, kakimoto@riam.kyushu-u.ac.jp

●茨城大学

公募人員 工学部・工学基礎領域 准教授 1名
 専門分野 電磁気学関連分野
 担当科目 電磁気学や工学部基礎教育に関連する科目
 着任時期 平成29年4月1日
 応募締切 平成28年10月31日（月）必着
 問合先 工学部 増澤 徹, TEL [0294] 38-5250
 toru.masuzawa.5250@vc.ibaraki.ac.jp

詳細 茨城大学 HP「採用案内」
<http://www.ibaraki.ac.jp/employment/index.html>

●大阪市立大学

公募人員 大学院工学研究科電子情報系専攻 教授 1名
 専門分野 情報処理工学に関わる分野（特に、統計学的手法を用いたデータ解析及びデータ科学分野）
 着任予定時期 平成29年4月1日
 応募締切 平成28年10月31日（月）必着
 問合先 情報通信領域教授 原 晋介
 hara@info.eng.osaka-cu.ac.jp
 詳細 http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/jobs/jobs_faculty/faculty

●東京工業大学

公募人員 教授 1名
 所 属 工学院電気電子系
 専門分野 統合IoT技術グループ・無線通信フィールド
 着任時期 平成29年4月1日以降なるべく早い時期
 応募締切 平成28年10月31日（月）必着
 問合先 工学院電気電子系教授 松澤 昭
 TEL & FAX [03] 5734-2508
 matsu@ssc.pe.titech.ac.jp

●兵庫県立大学

公募人員 大学院工学研究科電子情報工学専攻 教授 1名
 専門分野 知覚情報処理、特に画像情報処理、コンピュータビジョン、パターン認識などを研究している方が望ましい
 応募資格 博士の学位を有すること
 着任時期 平成29年4月1日（任期なし）
 応募締切 平成28年10月31日（月）必着
 問合先 電子情報工学専攻教授 上浦尚武
 TEL [079] 267-4918
 詳細 <http://www.eng.u-hyogo.ac.jp/outline/koubo/index.html>

●兵庫県立大学

公募人員 教授 1名
 所 属 大学院工学研究科電気物性工学専攻
 専門分野 電気・電子物性を基盤とした高効率エネルギー関連分野
 応募書類 下記の兵庫県立大学ホームページからダウンロードして御使用下さい
 選考方法 書類審査及び面接による
 着任時期 平成29年4月1日
 応募締切 平成28年11月14日（月）必着
 書類提出先・問合せ先 兵庫県立大学ホームページ参照
<http://www.eng.u-hyogo.ac.jp/outline/koubo/>

●福岡工業大学

公募人員 工学部電子情報工学科 准教授または助教 1名
 （本学では助教も独立した研究室を持ちます）
 専門分野 制御工学関連分野
 着任時期 平成29年4月1日
 応募締切 平成28年10月31日（月）必着
 問合先 電子情報工学科 盧 存偉, lu@fit.ac.jp
 詳細 http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin_kobo

●岐阜大学

公募人員 工学部電気電子・情報工学科電気電子コース
准教授 1 名
専門分野 通信工学（ハードウェアを基盤とする ICT 関連技術、
通信システム、ネットワークシステム等に関する分
野）
着任時期 平成 29 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期
応募締切 平成 28 年 11 月 10 日（木）必着
問 合 先 電気電子コース長 藤原裕之
TEL〔058〕293-2691, fujiwara@gifu-u.ac.jp
詳 細 http://www.eng.gifu-u.ac.jp/denkidenshi-jyuhou/

●北見工業大学

公募人員 情報システム工学科 特任助教 1 名
専門分野 情報システム工学分野。特に、ロボット知能、システ
ムのスマート化、IoT 関連技術、セキュリティ等の分
野に関心のある方
担当科目 学部での学生実験、演習科目の一部を担当
任 期 5 年ただし任期内に常勤助教へ転換、その後昇任可能
着任時期 平成 29 年 2 月 1 日以降のできるだけ早い時期
応募締切 平成 28 年 11 月 11 日（金）当日消印有効
問 合 先 情報システム工学科学科長 亀丸俊一
詳 細 http://www.kitami-it.ac.jp/内の採用情報のページ

●香川高等専門学校

募集人員 助教 1 名
専門分野 情報工学、ソフトウェア工学、計算機工学
採用予定日 平成 29 年 4 月 1 日
応募期限 平成 28 年 11 月 30 日（水）必着
問 合 先 情報工学科長 宮武明義
TEL〔0875〕83-8581, FAX〔0875〕83-8592
miyatake@di.kagawa-nct.ac.jp
詳 細 本校 HP「教職員採用情報」から御確認下さい
http://www.kagawa-nct.ac.jp/

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainbosshu.html>

◎次回締切 12 月号掲載分 平成 28 年 10 月 25 日（火）必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載してお
ります。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の
求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanbosshu.html>

●…………… お 知 ら せ ……………●

——平成 29 年度代議員選挙の

立候補申請について——

「代議員の選出に関する規程」に基づき、平成 29 年度代議員選
挙の立候補を受け付けます。

- ・立候補者：代議員の立候補者は本年 9 月 1 日現在、正員として
5 年以上在籍する会員で、正員等の推薦者 5 名を付して代議員
となることを申し出た者としします。
- ・立候補の締切：平成 28 年 10 月 31 日 学会事務局必着とし
ます。
- ・立候補届：以下の立候補届に所定の内容を記入し、下記まで郵
送下さい。

☆立候補届用紙は下記の URL にあります。

<http://www.ieice.org/jpn/29daigiinrikkouho.pdf>

- ・郵送先：〒105-0011 港区芝公園 3-5-8
機械振興会館 101 号室
電子情報通信学会事務局

——情報・システムソサイエティ英文論文誌の

オープンアクセス化について——

電子情報通信学会は、来る平成 29 年 5 月 1 日をもって創立
100 周年を迎えます。この 100 年間、電子情報通信分野の学問・
技術は大きな変貌をとげました。特にインターネットが誕生して
からは、学問・技術のボーダーレス化が急速に進むと共に、学会
のグローバル化が必要不可欠なものとなってきています。創立
100 周年を迎える電子情報通信学会では、これまでの領域にとら
われず、広く人文科学、社会科学等とも連携・協働し、新たな社
会価値創造の推進、更には国際的な認知度向上による会員数の増
加を目指した大きな制度改革に取り組んでおります。その一環と
致しまして、電子情報通信学会では英文論文誌のオープンアクセ
ス化の検討を行っています。オープン化を実施することにより、
英文論文誌に採録された論文は、全世界から無料でアクセスす
ることが可能となります。このことから英文論文誌サーキュレ
ションの飛躍的な拡大と質的な向上、ひいては人文科学や社会科
学等の幅広い分野との連携・協業、そして新たな社会的価値創造
へとつながることが期待されます。更に、国際的認知度の向上に
よるコミュニティ拡大が、本会活動発展の起爆剤となることを
狙っています。このためのステップとして、先行して検討を進め
てきた情報・システムソサイエティにおいて 2017 年 1 月から英
文論文誌のオープン化*を開始し、財務的な影響を含め有効性を
検証してゆくこととします。

*J-Stage のプラットフォームを通じてオープンアクセス化致
します。

——会誌 電子配信トライアル募集中——
——更に使いやすくなりました！——

このたびアプリの機能追加・改良を行い、更に
使いやすくなりました！
この機会に是非トライアルに御参加下さい！

会誌編集委員会では、現在、会員への更なるサービス向上を目指してスマートホンなどへの会誌のプッシュ型配信サービスの500名限定のトライアルを実施中です。

会員の方が、iPhone、iPad等をお持ちの場合(アンドロイド端末については今後対応する予定です)、簡単に毎月1日に電子配信を受けられるとともに、最新のe-pub版で構築された過去のバックナンバーやお気に入り本棚等のサービスも利用可能です。

●インストール方法：

iTunesストアから電子情報通信学会ieice会誌をダウンロードすることから始まります。

下記またはQRコードからインストールできます。

iOS端末のAppStoreから“IEICE”で検索してインストールできます。



<https://itunes.apple.com/jp/app/id957695896>

また、これに伴い、会誌モバイルサイトの内容を改訂しました。

<http://app.journal.ieice.org/>

iOSアプリのサポートページは下記に用意しました。

<http://app.journal.ieice.org/ios/support.html>

会員の場合は全ての記事を見ることができます。

●ログインするには、会員番号とパスワードを入力します。

なお、トライアル中は、バグ情報、アップデート情報、アンケート等をお送りすることがあります。お手数ですが、アクセスされましたら下記宛て御連絡下さい。

連絡先：会誌出版課 kaishi_trial@ieice.org

御協力をお願い致します。

——電子情報通信学会東京支部教育イベントの
公募について——

電子情報通信学会東京支部では、本会定款の「電子工学および情報通信に関する学問、技術の奨励および普及事業」として、我が国の未来を担う子どもたちに自然科学、特に電子情報通信分野や関連分野の科学技術のおもしろさ、すばらしさを実感、体感してもらえるイベントを企画することにより、「理工学系離れ」や「科学嫌い」の問題解決に寄与していきたいと考えています。そのため、これまで東京支部が主催する各種教育イベントを企画、実施してきました。

更にその活動を広げることが目的として、本会東京支部会員から、一般の小、中、高校生を対象とした草の根的な教育イベントの企画提案を募集します。企画・イベントの実施に際しては、東京支部が共同主催し、そのイベントに掛かった実費または実費の一部を分担したいと考えています。

なお、応募要領の詳細につきましては、東京支部ホームページ(<http://www.ieice.org/tokyo/koubokyouikuibento.html>)を御覧下さい。

——平成28年10月号及び11月号
和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

11月号 [英文] Smart Multimedia & Communication Systems
(通信ソサイエティ)

10月号 [和文] ネットワークの設計・制御・分析・管理技術

10月号 [英文] Satellite Communication Technologies in Conjunction with Main Topics of JC-SAT2015

11月号 [英文] Deepening and Expanding of Information Network Science

(エレクトロニクスソサイエティ)

10月号 [英文] Microwave and Millimeter-Wave Technology

11月号 [和文] 次世代モビリティ機器を牽引する高機能・高密度実装技術

11月号 [英文] Electronic Displays

(情報・システムソサイエティ)

10月号 [和文] ライフインテリジェンスとオフィス情報システム

10月号 [英文] Recent Advances in Machine Learning for Spoken Language Processing

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 …… ●

◇関西支部

●電気三学会関西支部「准員及び学生員のための講演会(後半)」

期 日 平成28年10月13日(木)、など

会 場 舞鶴工業高等専門学校(舞鶴市)、など

URL <http://www.ieice.org/kansai/>

●電気三学会関西支部一般見学会「NECイノベーションワールド(関西)と産業技術総合研究所関西センター」

期 日 平成28年11月18日(金)

会 場 午前の部 NECイノベーションワールド(関西)(大阪市)
午後の部 産業技術総合研究所関西センター(池田市)

URL <http://www.ieice.org/kansai/>

◇本会・ソサイエティ・グループ・研究専門委員会等
主催・共催

●2016年度(第31回)画像符号化シンポジウム(PCSJ2016)

2016年度(第21回)映像メディア処理シンポジウム

(IMPS2016)

期 日 平成28年11月16日(水)~18日(金)

会 場 ラフォーレ修善寺(伊豆市)

URL <http://www.pcsj-imps.org/archive/2016.html>